



# WINGMAKERS STUDY GROUP



## 7<sup>th</sup> Meeting

05/28  
2022

©2022 Mah, WingMakers, and other excerpt.. 本資料を許可なく公開、転載、配布、複写、編集することを禁じます。

# Announce

Santblue

## < 会場について >

原則飲食が禁止です。

- ※水分補給は可
- ※レストランからのケータリングは可能

## < 配信について >

Teamsで配信しているデータは録画します。

録画データは、スタディグループメンバーの希望者へ期限付きで公開することがあります。

## < 新型コロナウイルス対策について >

消毒液は会場フロント1Fに常備しています。  
マスクは個人ポリシーです。



## < 休憩について >

適宜休憩をとりますが、ご希望があれば、言ってください。

# Let's Speak

Santblue

自己紹介



近況等



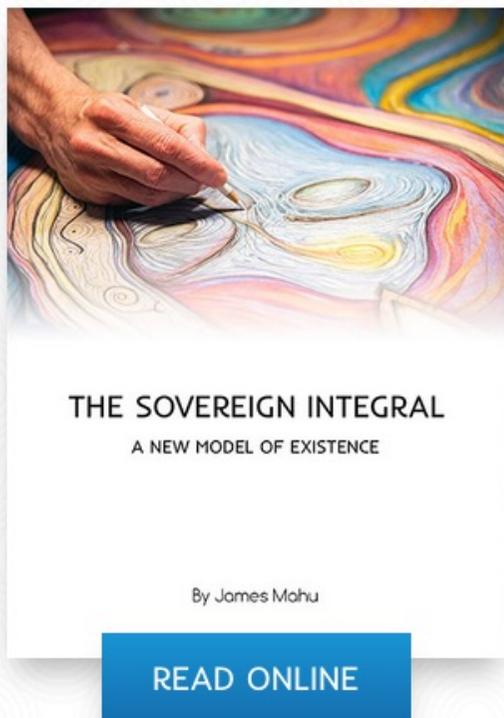
# Quantum Pause

4 × 4

Music:  
Vima Lamura - Awakening

# Paper of The Sovereign Integral

Santblue



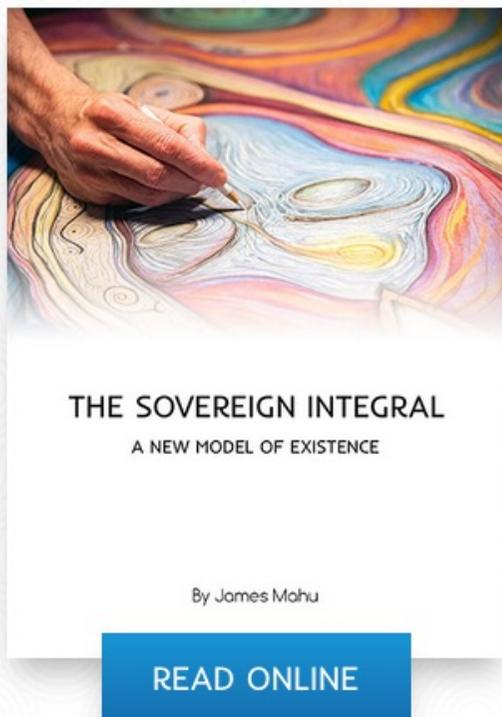
Jamesの新マテリアル

サヴァリンインテグラル

現在、中国語、チェコ語、イタリア語、ポルトガル語、ポーランド語、スペイン語、スウェーデン語に翻訳済

# Paper of The Sovereign Integral

Santblue



英語の内容から・・・

「難しめの解説論文」

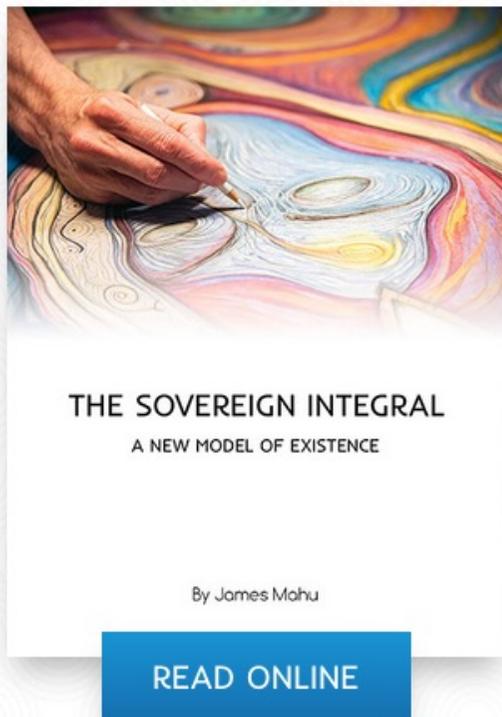
We need more cartographers to join the effort of mapping the face of consciousness, particularly artists.

私たちは、より多くの地図製作者、特にアーティストが、意識の表層を地図化する取り組みに参加する必要があります。

(DeepL翻訳)

# Paper of The Sovereign Integral

Santblue



私たちは、意識の表象を地図化する取り組みに、より多くの地図製作者、特に芸術家を必要としています。

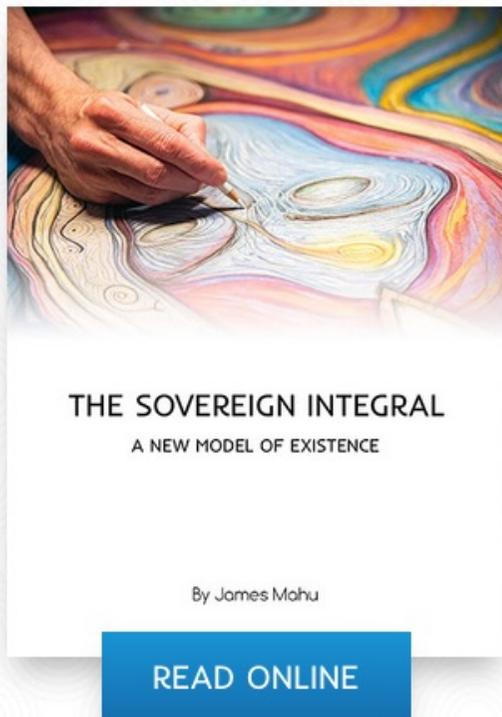
現代科学の出現以来、宗教学者、心理学者、神経学者、生物学者、物理学者が意識の本質について議論してきました。

あるアーティストは、絵やダンスや写真や音楽や映画や文章を使って、その目に見えない「顔」 - 人間の顔の背後にある存在 - を捉えようとしてきました。

時には、おそらく偶然に、私たちの人間世界の中にその痕跡をとらえることがあります。そのとき、その作家と作品は、新しいソースから生まれたものであることが認識されます。それは、誤解を克服し、静かな、しかし断固とした情熱をもって、理解されようとする内なるリアリティのようなものです。

# Paper of The Sovereign Integral

Santblue



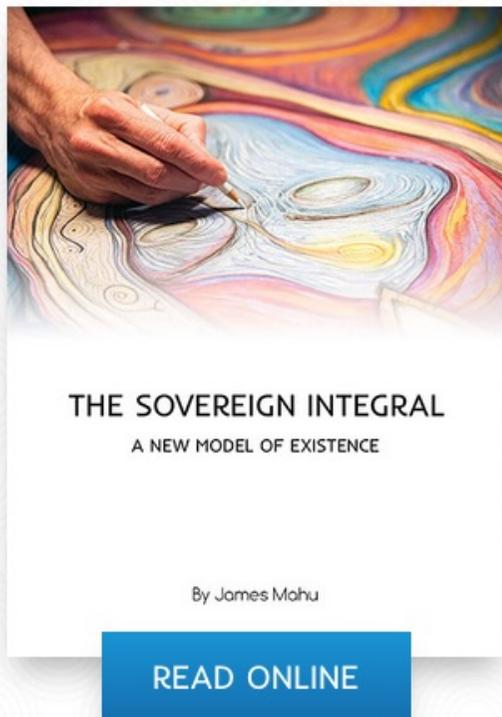
私たちの文化において、意識を理解することは明らかに過小評価されています。

高等教育では多様な哲学的な意見が述べられ、宗教の教えでは人間の魂の本質を知ろうとされていますが、意識は知的な抽象概念か丸みを帯びた詩の言葉によって定義されたままです。

興味深いことに、意識は現実的なテーマではありません。意識の研究・分析を担当する部門は、人間の努力の中には存在していません。  
(繰り返しますが、脳の話ではありません。)

# Paper of The Sovereign Integral

Santblue



私は、(省略)、意識と脳は別物であると繰り返し述べてきましたが、もう一步踏み込んで、意識と魂は別物であることを述べてみたいです。

魂とは、一般的には霊的なものであり、永遠の自己であると考えられています。

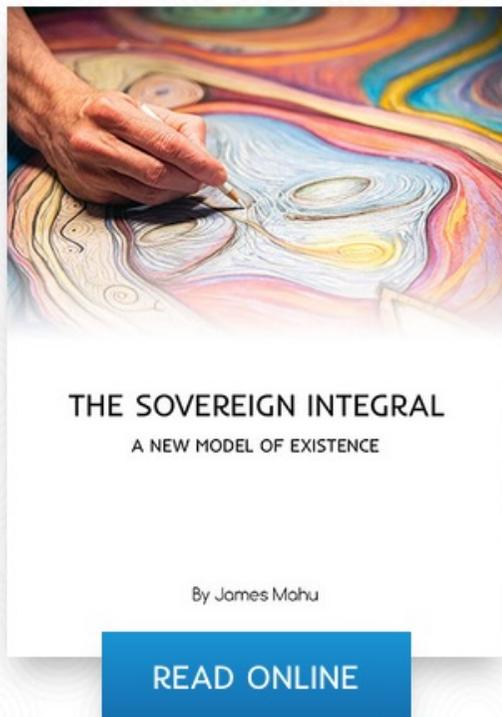
魂とは一般に、精神的なものであり、永遠の自己であると考えられています。

神、アッラー、ヤハウエ、ブラフマンなどがその創造者です。それは、未知のプロセスを経て、神に似せて創造されるかもしれません。魂は、死を免れた後、一定の法則に従えば、天国のような境地に達します。

死後の世界 - 善か悪かは、地上での人間としての行動によって決まります。これが「魂」の概念の大枠です。

# Paper of The Sovereign Integral

Santblue



一方、意識は、特定の宗教やスピリチュアルな団体の専売特許ではありません。

宗教的、精神的な組織の専売特許ではありません。

それは、完全に存在し、無限である一つのもので。

それゆえ、意識はすべてのものを包括しているのです。  
(略)

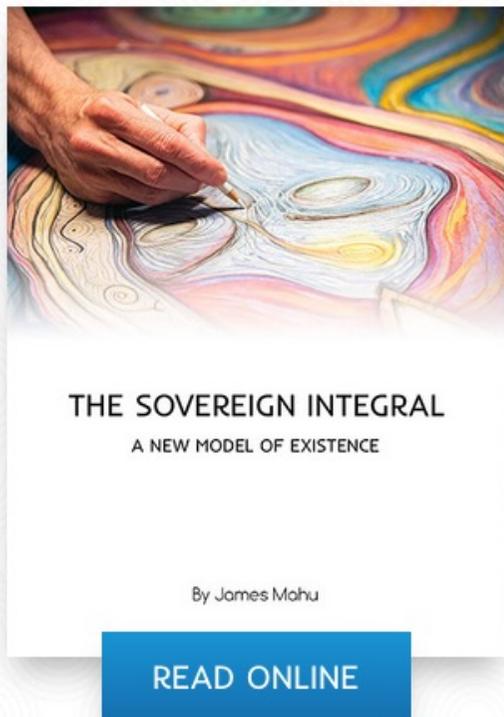
意識とは、少なくとも私の探求においては、主権的なアイデンティティ（自己）と統合的なアイデンティティ（統合）の合成です。

アイデンティティ（自己）とインテグラル・アイデンティティ（全体）の合成です。

したがって、私の意識に対する用語は、「サヴァリン・インテグラル」です。

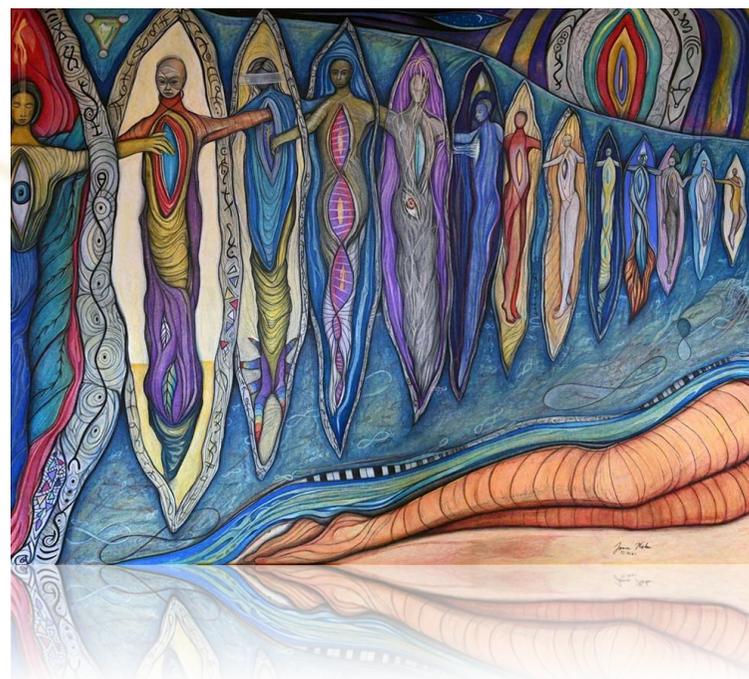
# Paper of The Sovereign Integral

Santblue



以降、本書ではサヴァリンインテグラルについて、  
たくさん、述べられていきます。

新しい絵も、公開され、説明されています。



# 芸術家、アーティストについて

Santblue

サヴァリン・インテグラルはイマジナリービーイングのようなものです。それは人間ではありません。悟りを開いた存在でもありません。それは、二元的な領域と非二元的な領域の両方において無限であり、異次元的です。それは、不可能に聞こえるかもしれませんが、それでも私たちは、それを私たちのように想像することができるのです。

サヴァリン・インテグラルに由来する哲学は、拡張(Expansion)と表現するのが最も適切でしょう。陳腐で、結晶化していて、標本のように固定されていて、ある日、次の日と同じように説明できるようなものは、サヴァリン・インテグラルから来たものではありません。意識は天気のようなものです：それは常に変化しています。目的地や終点、努力の集大成、目的の達成を表現するものは、「サヴァリン・インテグラル」のものではありません。それは無限に広がっています。

では、そのような「想像上の存在」である「サヴァリン・インテグラル」は、私たちの世界--私たち全員が生きている人間という共有の現実--で、どのように生き、呼吸しているのでしょうか。もし科学がそれを突き止めることができなければ、もし、宗教やスピリチュアルなテキストがあまりにも曖昧であれば、この存在を意味のある形で私たち人間の領域に取り込むチャンスはあるのでしょうか？

これこそが、この論文の主題です。その刻印、エネルギー、そして視点が、私たち全ての人生にインスピレーションを与える要素としてより深く感じられるようにするために、「サヴァリン・インテグラル」な意識を人間の文化に持ち込むことが、アーティストの機能であると私は信じています。

# 芸術家、アーティストについて

Santblue



You were not invented for darkness.

あなたは闇のために発明されたものではありません。

# 人間の社会

Santblue

21サヴァリンは、他の生命体や自然一般との相互依存と相互接続を表しています。それは、次元間の意識として、サヴァリンが蛾または人間の現実を経験しているかどうかにかかわらず、その存在のすべての現実次元で進化と拡大を追求することです。それぞれの種には、その種と時空のための社会的プログラムを含む、独自の種固有の現実があります。種固有の現実では、身体の自我は、社会プログラムとの種のインターフェースです。はい、キハダマグロやシルバーオークの木でさえ、彼らが没頭しているソーシャルプログラムを持っています。サヴァリンは、その種の共有された現実と相互作用し、その社会的プログラムからの手がかりに従って、身体の自我を満たし、力を与え、学び、刺激し、そして拡大します。

26すべての生命は主権者をホストしているので、これはすべての生命に本質的な価値を与えます。これが、部分的に、サヴァリンインテグラルがすべてのものを含む理由です。それはすべてのものを包み込みます。それはすべてのものに生息しています。それがすべてです。それは、なぜ人間の文化がこの平等の基本的な前提を具体化する必要があるのか、そしてなぜ私たちの集合的社会的プログラムが時間の経過とともにこの視点を含むのかという呼びかけに答えます。この定義では、平等は完全性です。それは「私たちは同じ」の平等ではありません。真のサヴァリンは、どんな形であれ、どんな時空においても、それ自体を表現するすべての生命の核となるアイデンティティです。

# 次元間フラクタル概念(IFC)

Santblue

**163 Interdimensional Fractal Concept** | A Sovereign is an Interdimensional Fractal Concept (IFC). So is the Integral, the Sovereign Integral and Love. Notice that the Unknowable is not on that list of Interdimensional Fractal Concepts, and therefore the number of IFCs is unknown. The Unknowable does not traverse duality. It is only through an IFC that the Unknowable experiences duality. Thus, IFCs are the Vessels of the Unknowable. A vital distinction of an IFC is that it is not contained. It operates across Levels and Lifetimes. *All known and unknown Levels*. It is always expanding those Levels in both the nondual and dual realms.

164 Expansion is the purpose of IFCs. Expansion, however, must be experiential. For example, at this point in the twenty-first century, humanity is expanding into what it calls the metaverse, virtual reality and artificial intelligence. It is the expansion into two-dimensional space. It is, in many ways, the equivalent of expansion into four-dimensional space. Both are expansions from a three-dimensional, spacetime reality. Every dimension is infinite in scope, yet its inception point is the same. The life forms that are in the metaverse are avatars or digital twins of a three-dimensional Sovereign, and the three-dimensional Sovereign is an avatar of a four-dimensional Sovereign and so forth. This is the nature of an IFC.

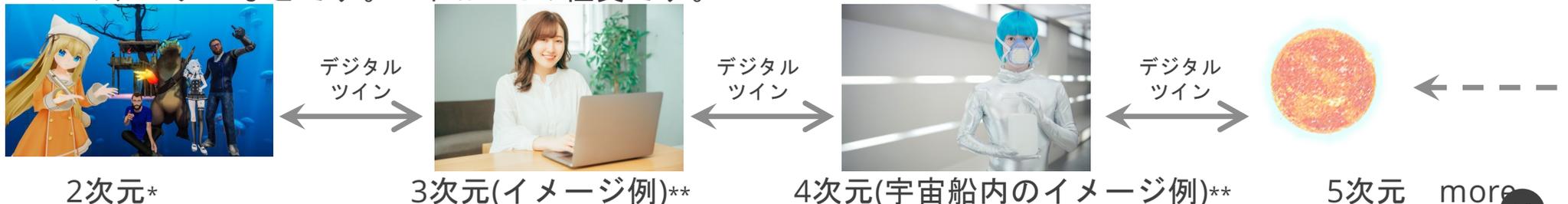
# 次元間フラクタル概念(IFC)

Santblue

**163** 次元間フラクタルの概念 | サヴァリンは次元間フラクタル概念 (IFC) です。インテグラル、サヴァリンインテグラル、そして愛もそうです。

Unknowable(不可知)は次元間フラクタル概念のリストに含まれていないため、IFCの数は不明であることに注意してください。Unknowableは二重性を横断しません。Unknowableが二重性を経験するのはIFCを通してのみです。したがって、IFCは未知の船です。IFCの重要な違いは、IFCが含まれていないことです。レベルとライフタイムを超えて動作します。すべての既知および未知のレベル。非デュアル領域とデュアル領域の両方で、これらのレベルを常に拡張しています。

**164** 拡張はIFCの目的です。ただし、拡張は経験的なものでなければなりません。たとえば、21世紀のこの時点で、人類はメタバース、バーチャルリアリティ、人工智能と呼ばれるものに拡大しています。それは二次元空間への拡張です。これは、多くの点で、4次元空間への拡張に相当します。どちらも、3次元の時空の現実からの拡張です。すべての次元の範囲は無限ですが、その開始点は同じです。メタバースにある生命体は、3次元サヴァリンの-avatarまたはデジタルツインであり、3次元サヴァリンは4次元サヴァリンの-avatarなどです。これがIFCの性質です。



2次元\*

3次元(イメージ例)\*\*

4次元(宇宙船内のイメージ例)\*\*

5次元 more

\* VRchatの例として画像を<https://www.moguravr.com/vrchat-6/>より引用)

©2022 Mah, WingMakers, and other excerpt.. \*\* イメージ例は写真ACより素材使用

Google翻訳

# ではどうすべきか？何をすべきか？

Santblue

色々と難解な用語や概念が出てきますが、では一体、マテリアルに携わる私たちはどうすべきなのでしょう？何をすべきなのでしょう？

一つは、インタビュー5で述べられているように個人のローカルユニバースの中で抵抗的行動(分離への抵抗)と挿入的行動(六つのハートの美徳)を行うことです。

では他には？抵抗的行動と挿入的行動をベースに置いた上で、具体的に人類の中でどのような活動を行なって行けばいいのでしょうか？

そこに明確な答えはありませんが、クオンタシアーテクノロジーを開発するソロモンのように、小説の中にある沢山の声の中から、自分に合ったものを識別し、自分なりの道を模索・創造することができます。

芸術家になること、事業家になること、教師になること、学者になること、会社員になること、主婦になること、政治家になること、翻訳家になること、農家になること、他にもある沢山の人類の活動のペルソナの側面から、自分に合ったものを選んでカスタマイズし、等価性と統合性の性質を人類へもたらすアクティビティを行うことも可能です。

# ではどうすべきか？何をすべきか？

Santblue

率直に述べて、ウィングメーカーはあれをすべき、これをすべきとは述べていません。

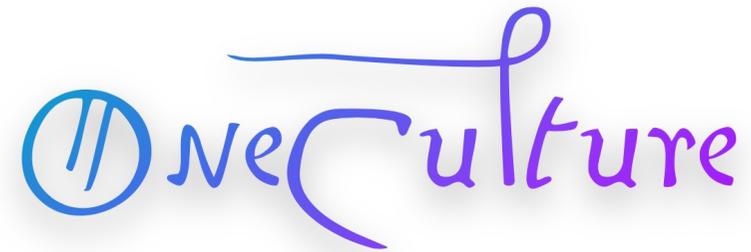
ハートの美徳は推奨していますが、人間の世界での役職や活動として、積極的にこうなさいとは述べていません。

ですので、以降の内容は、ウィングメーカーマテリアルに携わった人間が作った選択肢の一つとして、ご記憶いただければ幸いです。



# OneCulture Concept

Santblue



Concept

Santblue  
Concept Rev/1.00  
2022/05/28

# ジェネティックマインドのパスワード

Santblue

人類の全員が、年齢や社会的地位に関係なく、コンピュータを持っていると想像してほしい。全員が自分のコンピュータにアクセスすることができるが、若干名だけがネットワークに接続できるとする。その人々が、インターフェイス・ソフトウェアを持っているからだ。このグループの中の僅かなパーセンテージの人々が、そのネットワークに設置する為のコンテンツを開発した。さらにその中の一握りの人が、ネットワークを探検する人々を鼓舞するものとして定義されるようなコンテンツを創造したとする。では、ここで、そのネットワークに情報を挿入する権威を神と呼ぼう。しかし、それはパスワードで保護されている。神は誰にパスワードを授けると思う？

(略)

すべての人が呼吸ができるのと同じくらい当たり前に「パスワード」を持っているのだが、大部分の人は、ネットワークに接続しているコンピュータを持っていないグループにいると信じてしまっている。それ故に、彼らはそのネットワークにアクセスしようとするしない。ほんの一握り人がそのネットワークを知っていて、パスワードによってプロテクトされていると信じているわけだ。

(略)

前にも言ったが、人類は集団意識を編成し、発展させることよりも、エゴを探求することに興味を持ってしまったがゆえに、その能力を忘れてしまったのだ。

By ウィングメーカー リリカス対話編より

22

# ジェネティックマインドのパスワード

Santblue

お前はイメージの力を使って、お前のマインドとハートに次のような宣言を明確にしなくてはならない。

- 私はすべての時間と空間の兄弟、姉妹たちと永遠に繋がっている
- 彼らが知っているものは、私も知ることができる
- 彼らが発見したものは、私も発見できる
- 彼らが辿り着いたものに、私もなれる
- 私が行うすべてによって、大勢の人々のマインドが「一なるマインド」を統べるかもしれない。

パスワードは宣言の中にコード化されている。パスワードは、お前の中のインターフェイス・ゾーンを活性化するだろう。パスワードは、お前と人類のジェネティック・マインドの間の繋がりを刺激するだろう。

# ジェネティックマインドのパスワード

Santblue

パスワードは、魔法の言葉でも、マントラでも、宣言でもない。

それは、長い時間をかけてお前の本質となるまで態度を構築することだ。

私を与えた宣言を述べ、その宣言の中に本当に生きているとお前のハートとマインドで、数ヶ月、多分数年になると思うが、それを知ったとき、お前は自分が探し求めたジェネティック・マインドへの明瞭なアクセスを得ることができるだろう。

(略)

「一なるマインド」とはお前自身のことだ。ファーストソースは、「一なるマインド」でも、大勢の人のマインドでもない。ファーストソースがマインドとして言及される限りにおいては、「一なるマインド」とはすべてのマインドなのだよ。

(略)

ファーストソースと、人類の進化の道に関することは、グランドポータルの発見に役立つ道具として、ジェネティック・マインドの局面にコード化されている。この特殊な宣言は、ジェネティック・マインドのその特殊な部分にアクセスする上で有効だ。その宣言は、ジェネティック・マインドのすべての局面と共鳴するものではない。

# WingMakers.comの絵と解説文

Santblue

公式のMixed Galleryから。

<https://wingmakers.com/art/mixedmediagallery-aa/>

DeepL翻訳(一部編集)

ウイングメーカーズのアートにおけるシンボルの使用は、作品の物語を定義する上で重要な要素となっています。その一例として、マンドーラを挙げてみましょう。マンドーラは人類にとって最も古くからあるシンボルの一つです。幾何学ではベン図と呼ばれ、具体的には2つの有限の集合（円）が重なり合い、その関係を示す部分です。宗教的な図像では、マンドーラはしばしば肉体的な領域から精神的な領域への上昇を表すために使われます。マンドーラは、肉体と精神の間の希薄な空間を定義し、しばしば世界と世界を結ぶ交通手段とみなされます。

マンドーラの語源はイタリア語でアーモンドを意味します。これは、その形からきています。しかし、このシンボル自体にはさまざまな意味があり、中でも最もよく知られているのが

レンズ、目  
時空を超えた聖なる瞬間（アセンション）  
宇宙（コスモス）  
人間のオーラ

このように、様々な解釈があるのです。ウイングメーカーの資料では、マンドーラは芸術のシンボロジーの中で非常に重要な役割を担っており、次元間のポータル的な交流を表現するために使用されています。Ancient Arrow遺跡の第2室が最初に描かれたマンドーラですが、このテーマはほぼすべての絵画に存在しています。

多くの場合、マンドーラは同心円状の色の帯で描かれ、内側に向かうにつれて意識の高次元を意味します（第7の方向とも呼ばれます）。マンドーラは変容のポイントであると同時に、量子状態や静止点への「レンズ」でもあります。



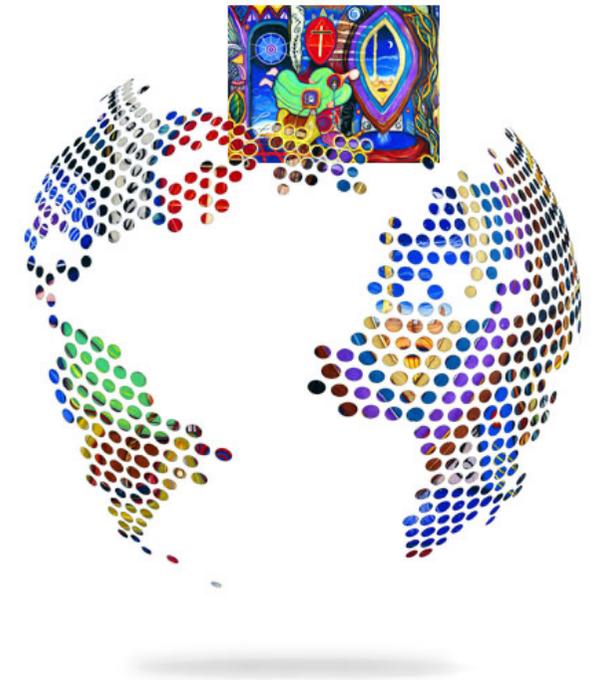
# 弱肉強食

Santblue

ある漫画のセリフで「所詮この世は弱肉強食 強ければ生き弱ければ死ぬ」と言うものがあり、強者による搾取や横暴な立ち振る舞いが正当化できる根拠として使用されることがあります。

自然界でも、弱い種は強い種に食べられ、淘汰される側面もあります。

I AM WE AREの背景においては、単に、どれだけ強い種であっても、弱者、弱い種がいないと、強者は生存できないということを示しています。



# Signalグループ

Santblue

ウィングメーカースタディグループの連絡事項などを配信するSignalグループを作成します。

テレグラムも考えましたが、ロシア情勢が不安定なのでSignalとしています。



参加をご希望される方は、ご連絡をいただければ幸いです。

## 次回以降の予定

次回以降、Zoom開催のみとなる可能性があります。またアナウンスを行います。

- ~~第6回目 2022年1月22日(土) 13時～16時すぎ(部屋は17時まで)~~
- ~~第7回目 2022年5月28日(土) 13時～16時すぎ(部屋は17時まで)~~
- 第8回目 2022年7月23日(土)13時～16時すぎ(部屋は17時まで)
- 第9回目 2022年10月22日(土) 13時～16時すぎ(部屋は17時まで)

今回ご参加の方には、開催1週間前後を目安にSignalグループまたはメールなどで連絡を送りますので、ご返信いただければ幸いです。

会場の都合などで、日程は変更になる場合があります。

私からの返信が2日以上ない場合、届いていないか、返信が正常に到着していない可能性がありますので、再送をお願いします。(別のメールアドレスから送って頂くのも効果的です。私のサイト上に返信状況を掲載する場合があります)

